

モン太とつちまるの植物日記

「ツタ植物」

一般的なツタ植物には、秋に紅葉するブドウ科ツタ属のツタと、冬も葉をつける常緑のウコギ科キツタ属のキツタの2種類があります。ツタ植物は、吸盤や気根を出して、壁や木、石にからみつきます。

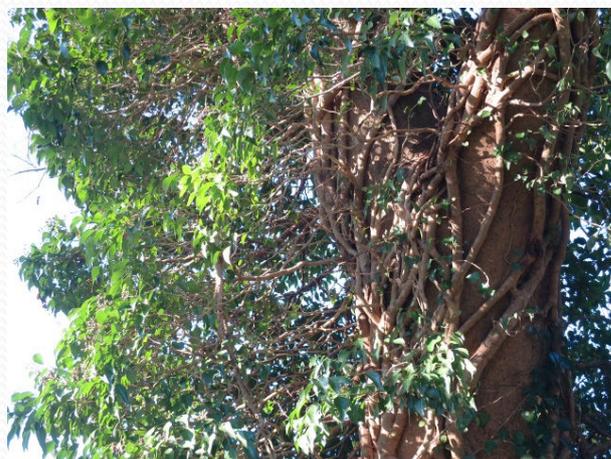


ウメ開花
(1か月早い)
平成28年1月7日

広場には、大木のエノキの樹幹を覆い隠すほどからんでいるキツタが見られます。エノキは落葉樹なので、冬は葉がありません。熱帯のつる性植物の中には、「絞め殺し植物」と呼ばれるものもあり、樹幹に巻きつき枯らしてしまいます。エノキにとってもあまりいい状態ではないようです。



平成28年1月9日撮影 エノキとキツタ
緑色のハート形に見えるものがツタです。
葉が付いていない枝がエノキです。



平成28年1月9日撮影 エノキ樹幹
太い幹はエノキ、緑色の葉をもつ細い木がツタ

～広場で凧あげをしよう！～



広場の周りには樹木がありますが、広場中央には電柱や電線がなく、凧あげに最適です！！